

日本プロ麻雀協会 第18期前期プロテスト

麻雀問題②

問 題

(試験時間 30分)

(平成31年1月20日実施)

注意事項

- 1) 試験開始の前に、問題の枚数と解答用紙を確認してください。
問題は、表紙を含めて3枚。解答用紙は、1枚です。
- 2) 解答はすべて解答用紙に記入してください。
- 3) 解答にあたっては、指示のあるものについては指示に従い、
楷書ではっきりと記入してください。
判読が困難なものに関しては、正解としません。
- 4) 問題に関する質問は、原則として受け付けません。

※解答には以下の牌譜記号を用いること。

萬子：一・二・三…九 筒子：①・②・③…⑨ 索子：1・2・3…9

字牌：東→T、南→N、發→R、その他はそのまま

問1. 以下の用語の正式名称を漢字で書きなさい。

- (1) ホウテイハイ
- (2) リンシャンハイ
- (3) ジヤントウ
- (4) リャンペーコー
- (5) チンロウトウ

問2. 以下のタイトルを獲得した選手の名前をフルネームで書きなさい。(ひらがな可)

※全て現在のタイトルホルダーである。

- (1) 第17期雀王
- (2) 第17期女流雀王

問3. 以下の文章は日本プロ麻雀協会競技規定の一部抜粋の文章である。

①～⑩に入る適切な言葉を書きなさい。

第9条 ドラ (懸賞牌)

ロ. [榎ドラ]

- A ドラは榎が有る毎に増え、一つ目の榎では王牌末尾より4幢目の上段の牌が新ドラ表示牌となる。以後この行為を繰り返し、四つ目の榎では7幢目となる。榎ドラは榎子の開示が確認された時点で発生する。[①]により榎が成立しない場合には榎ドラは発生しない。

第12条 競技の開始と段節および終了

- B ハ. アガリ、または流局、あるいは[②]による終局を以って一局とする。

第17条 流局時のテンパイ宣言

- C イ. テンパイは手牌の開示を以って宣言を為したとみなす。[③]の有無は問わない。
ロ. 自己の手牌および副露牌で[④]を使い切っているものはテンパイとならない。

第32条 リーチ (立直)

ホ. リーチ棒は以後の和了者が取得する。

- D (但し、南四局が[⑤]となった場合は供託のままとする)
ト. リーチ後でもアガリの見送りができるが、以後は[⑥]扱いとなる。

第43条 アガリ点の計算 (2) 翻の計算

- E アガリ役の合計にドラの枚数と[⑦]の2を加えた数を翻数とする。
同居しうる役の複合は認めるが、海底撈月と嶺上開花は複合しない。

第47条 多牌と少牌

- F イ. 榎のない時の手牌が12枚以下を少牌、14枚以上を多牌という。
ロ. 多牌・少牌の者は[⑧]となる。

第52条 チョンボ

- G イ. 正当なアガリを除き、終局前に手牌を公開した場合はチョンボとなる。
ロ. [⑨]およびリーチ後の不正な[⑩]は流局後にチョンボとなる。

日本プロ麻雀協会 第18期前期プロテスト 麻雀問題②解答用紙

受験番号 0

氏名 模範解答

- 問1. (1) 河底牌
 (2) 嶺上牌
 (3) 雀頭
 (4) 二盃口
 (5) 清老頭 (1点×5問)

- 問2. (1) 金 太賢
 (2) 逢川 恵夢 (1点×2問)

- 問3. ① 搶槓
 ② チョンボ
 ③ 手役
 ④ アガリ牌
 ⑤ 流局
 ⑥ フリテン
 ⑦ 場ゼロ
 ⑧ アガリ放棄
 ⑨ ノーテンリーチ
 ⑩ 暗槓 (1点×10問)

- 問3. 一二八九⑧3345689北 (3点×1問)

- 問4. ① ×
 ② ×
 ③ ○
 ④ ×
 ⑤ × (2点×5問)

- 問4. (1) A : +34.3 B : △1.8 C : △35.9 D : +3.4
 (2) 300 / 500
 (3) 8000
 (4) 1300 / 2600
 (5) 1位 : C 2位 : D
 (6) A : +83.9 B : △31.4 C : △15.9 D : △36.6
 (7) 3200 (3500)
 (8) 300 / 500 (400 / 600)
 (9) ┌600以下 12000以上 (1900以下 12300以上)
 ※7～8のカッコ内は1本場込の点数。 (1～8 : 2点、9 : 4点)